

## 感染症について

感染症にかかった場合やご家族に感染症が発生した場合には、速やかに弊所にご連絡下さい。ご連絡が遅れますと抵抗力のない子ども達には短期間に蔓延、悪化する恐れがあります。

感染症名	感染しやすい期間	登所のめやす
麻疹（はしか）	発症1日前から発疹出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間（発症前24時間から発症後3か程度まで）	症状が始まった日から5日以内に症状が無くなった場合は、症状が始まった日から7日目まで。または解熱後2日を経過するまで
風疹	発疹出現の前7日から後7日間程度	発疹が消失してから
水痘（水ぼうそう）	発疹出現1～2日前から痂皮（かさぶた）形成まで	全ての発疹が痂皮（かさぶた）化してから
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺の腫脹が消失してから
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血などの症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性結膜炎	充血や目やになど症状が出現した数日間	症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること（抗菌薬を決められた期間服用する。7日間服用後は医師の指示に従う）
結核		感染の恐れがなくなってから
腸管出血性大腸菌感染症 （O-157・O-26・O-111等）		症状が治まり、かつ抗菌薬による治療が終了し48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されてから
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事を摂れていること
伝染病紅斑（リンゴ病）	発疹出現前1週間	全身状態が良いこと

ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間	嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事が摂れること
ヘルパンギーナ	急性期の数週間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の食事が摂れていること
RSウイルス	呼吸器症状	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	全ての発疹が痂皮(かさぶた)化してから
突発性発疹		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと